

【評価対象年度 2019年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市大賀藕絲館		
施設概要	【所在地】町田市下小山田町3267番地 【開設年月】1990年4月 【開館日時】月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時まで 【敷地面積】2348.43㎡ 【建物面積】1064.32㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造2階建て		
設置目的	障がい者に対し、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づくサービスを提供することにより、自立した日常生活又は社会生活の実現を図るため		
設置根拠法令・条例	町田市大賀藕絲館条例		
所管部課	地域福祉部障がい福祉課	問合せ先	042-724-2147
施設ホームページURL	https://machida-ikuseikai.net/service/ohgagushikan.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 まちだ育成会	法人番号	3012305000456
指定管理者所在地	町田市山崎町1214番1		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)障害者総合支援法に規定する生活介護及び就労継続支援に関する事業の実施 (2)町田市大賀藕絲館の施設及び設備の維持管理に関すること (3)ハス等及び紅花栽培管理に関すること (4)その他市長の指定した業務		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
職員の人材育成、支援知識の向上を図るために研修に参加する。	2023年	常勤職員全員が研修を受講した。
利用者の健康管理に努める。歯科治療、健康診断、インフルエンザ予防接種等の機会を設け、前年の人数を上回るよう受診を促していく。	2023年	利用者へ歯科治療、健康診断、インフルエンザ予防接種の機会を設けた。健康診断は全員が受診していない状況のため、受診率を上げていく。
利用者への工賃支払いにおいて、夏季、冬季の年2回の手当を支給を行う。	2023年	期末手当を含む3回の手当支給を行うことができた。

3. 昨年度の課題

内容	安定的な工賃を支給し、利用者の意欲的な活動が継続できるよう、活動内容の工夫等の方策が求められる。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	昨年度の課題であった工賃確保や活動の工夫について、施設内の生産活動や製品の分析、販売先の開拓等が実施できた点は評価に値する。作業目標を設定したことで、職員のみならず利用者も共に目標に向け積極的な活動を行っている。作業が困難な利用者に対しては、新たな作業の研究、情報収集を行い、既存の活動にとらわれない多様な活動を目指す取り組みが行われている。また、施設の活動内容や製品情報を積極的に外部に発信するなど、一般の方や地域とのつながりを意識した開かれた施設となっている。質の高い支援を行うために、支援内容の検討・検証、職員間の情報共有の徹底、専門性向上のための研修受講等に取り組んでいる様子が見られた。今後、利用者の高齢化や障がいの重度化はさらに進むため、個々の特性や状態に対応した支援が課題となる。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	安定的な工賃支給のため、就労支援事業収入の向上に向けた取組みを行った。年間作業予定表を作成し、施設内の売店での売れ行き動向を見る機会を設けた。効果的な時期や製品を見極め年間に何か所かポイントを置くことで、適切な時期を目指した製品の事前準備や、丁寧な商品開発を行うことができた。ただし、台風や夏季の気温の低さにより、蓮や紅花の開花が悪く、イベント販売に影響を受けた。イベントに頼らず、継続的な販売ツールを考えていくことが課題となった。利用者の高齢化や重度化に対応した支援を実施できた。高齢の利用者に対しては、体調や特性に合わせた支援を大切にすため、通所頻度や活動内容に無理がないように心掛けている。重度の障がいのある利用者の受入れを行い、様々な支援の試みや家族との密な連携、体調の悪化や活動リズムの崩れを防ぐ取組み等を徹底した。支援を多く必要とする利用者が、段階を経ながら作業や余暇、行事へ参加できるようになっている。利用者、職員ともに支援を通じた成功体験を経験することで、施設での日中の過ごし方がより有意義なものになった。	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2020年1月13日～1月24日 【調査対象者数】生活介護 25名 就労継続支援B型 45名 計70名 【回答者数】53名 【回収率】75.7% 【調査方法】面談
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:90%以上 B:50%以上～90%未満 C:50%未満	80%	79.2%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	80	80	80	80	80
実績値	79.2				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
研修計画の目標達成度 (各職員が研修受講の年間計画と目標を設定。年度末に目標達成度を数値化し平均値を記載)	A:90%以上 B:50%以上～90%未満 C:50%未満	70%	75%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	70	70	75	75	80
実績値	75				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
利用者会議開催回数	A:12回以上 B:6回以上～11回以下 C:5回以下	12回	11回	B	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	12	12	12	12	12
実績値	11				

指標4	評価基準	目標	結果	評価	
余暇活動(クラブ活動)の実施	A:12回以上 B:6回以上～11回以下 C:5回以下	10回	9回	B	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	10	10	10	10	10
実績値	9				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	全利用者を対象にした調査において、満足度は目標値に達しなかったものの、8割近くの利用者から満足という回答を得られている。 研修計画については、職員自身で目標の設定と達成度の検証を行うほか、管理者とも振り返りを実施している。達成度は75%と目標値を上回り、研修報告会にて全職員に内容を共有するなど、支援力を向上させる取組みがみられた。 利用者会議や余暇活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年と比べ少ない回数となったが、年間を通して定期的・継続的に実施できている。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	全利用者の特性に応じた平等なサービス提供	個別支援計画の作成	支援計画の個々の目標、支援内容について計画、見直し、総括と年3回取り組んだ。	適
	第三者評価の受審	年1回の受審	2020年1月～3月に第三者評価を受審	適
施設の運営方針・管理	法人本部との運営会議の実施	年間6回以上の会議開催	経営会議22回の実施 運営会議8回の実施	適
	適切な管理方針の提示	各種設備点検の実施	昇降機設備保守点検(月1回) 空調設備保守点検(年2回) 消防設備機器保守点検(年2回) 自家用電気工作物保管管理点検(2カ月に1度) 貯水槽清掃点検(年1回)	適
情報公開・個人情報保護	情報公開体制	情報公開規定の整備	情報公開規定を整備済み	適
	個人情報の適切な取扱	書類の施錠保管 データのパスワード設定	個人情報がある棚には施錠管理を行い、データ上での個人情報は、パスワードを設定した。	適
要望対応	利用者、家族からの要望を聞く場の設置	年1回以上の保護者会の実施	年3回(5月、9月、1月)開催	適
	要望・苦情対応記録	記録の作成 職員ミーティングでの共有	苦情報告書に記載し、職員会議にて情報共有を行った。	適
危機管理	災害・防犯への備え	消防計画に基づく訓練の実施(年3回以上)	防災訓練を3回実施	適
	賠償への対応	各種保険への加入	団体総合生活補償保険・生産物賠償責任保険・受託者賠償責任保険・傷害保険に加入	適
人的安定性	職員研修	研修受講12回以上	研修受講22回、常勤職員全員の研修受講	適
	人員配置	法律上の人員配置基準 (2019年度 就労継続支援B型/利用者7.5人に1人、生活介護/利用者2.5人に1人)	就労B常勤換算5.9(5.2:1) 生活介護常勤換算8.4(2.3:1)	適
管理経費の縮減	管理経費の縮減	節水節電等経費の削減	電気使用量+4% 上下水道-8.8% 都市ガス-4.3%	適
	経費の適正執行	価格情報を把握し、適正な価格での購入	先々の活動予定から必要になる物資を事前に確認し、計画的にまとめて購入するなどの経費削減に努めた。	適
地元貢献	地域貢献	可能な限りの職場体験や実習受け入れ	27名の実習生、延べ382名のボランティアの受け入れを行った。	適
	地域、関係機関との交流や協力	地域や関係機関との交流・協力24回以上の実施	施設周辺の地域清掃を行ったほか、地元学校やイベントに49回出店 施設見学33団体	適
利用者支援	安定的な工賃の支給に向けた取組み	職員間での作業目標の設定	目標をフロア毎に設定。目標を達成し、安定した売り上げの確保から工賃へつなげることができた。	適
	利用者の特性に応じた作業の提供	利用者各々に合った作業内容の検討実施	フロア会議で利用者の作業の検討を行った。また、職員間の打ち合わせで各利用者の作業状況を確認し、別の作業にも取り組めるよう作業予定表を作成した。	適
	送迎事業の実施	希望者全員の送迎	希望者全員が送迎を利用して出勤することができた。	適

【評価対象年度 2019年度】

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	7月3日に現場調査を実施し、事業報告書、利用者アンケート等各資料の確認及びヒアリングにて要求水準を満たしていることを確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	2019		2020		2021		2022		2023	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	107,600	108,294	109,600		112,100		114,100		117,300
	利用料金	4,150	3,619	4,150		4,150		4,190		4,310
	就労支援事業	17,200	19,206	17,400		17,450		17,750		17,900
	その他	4,701	6,714	4,701		4,721		4,736		4,756
	施設整備費	0	591	0		0		0		0
	財務活動	0	2,465	0		0		0		0
	計	133,651	140,889	135,851	0	138,421	0	140,776	0	144,266
支出	人件費	69,768	77,856	72,318		74,568		77,218		80,218
	維持管理経費	23,456	23,919	24,095		24,215		24,215		24,005
	就労支援事業	17,200	16,803	17,400		17,450		17,750		17,900
	その他	850	706	850		850		850		850
	施設整備費	0	1,486	0		0		0		0
	財務活動	17,130	8,677	16,785		16,893		17,785		18,855
	計	128,404	129,447	131,448	0	133,976	0	137,818	0	141,828
総計(収入-支出)	5,247	11,442	4,403	0	4,445	0	2,958	0	2,438	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	3.0				
負債比率	26.8				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	人件費は予算と比較し増加しているが、適正化に向け、人員体制の見直しに取り組んでいる。当期決算収支は11,442千円となり、安定した運営ができています。